

まなびのめ 最新情報はWeb版で更新中です。
http://www.sasappa.co.jp/manabinome/

文学サロン 「さびしい「坊っちゃん」」 4月27日(日) 13:30 ▶ 15:00
講師 仁平道明 (東北大学教授) ※定員100名 無料 要申込
会場 仙台文学館 講習室
仙台文学館 仙台文学館 仙台文学館
TEL 022-271-3020
URL http://www.lit.city.sendai.jp/souseki2008.html

新野草館・開館記念講演会 「野草園 生い立ちのころ」(仮) 5月3日(土) 13:30 ▶ 15:00
講演者 菅野邦夫 (仙台市野草園名誉園長) (入場料別途必要) 無料 申込不要
会場 仙台市野草園
仙台市野草園 仙台市野草園
TEL 022-222-2324
URL http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_yaso.html

水の中の微生物 5月9日(金) 18:30 ▶ 20:00 無料 申込不要
会場 東北工業大学一番町ロビー
東北工業大学 東北工業大学
TEL 022-723-0538
URL http://www.tohtech.ac.jp/outline/general.html

文学サロン 「夏目金之助先生の英文学」 5月10日(土) 13:30 ▶ 15:00
講師 原 英一 (東北大学教授) ※定員100名 無料 要申込
会場 仙台文学館 講習室
仙台文学館 仙台文学館
TEL 022-271-3020
URL http://www.lit.city.sendai.jp/souseki2008.html

東北地理学会 公開講演会 川村博忠「江戸幕府の国絵図事業と元禄仙台領国絵図」、田村俊和・関根良平「外邦図の成り立ちとゆくえ、その活かし方」 5月16日(金) 18:00 ▶ 20:00 無料 申込不要
会場 東北学院大学押川ホール
東北地理学会と歴史地理学会
TEL 022-264-6430

第34回東北大学サイエンスカフェ「量子暗号・量子情報処理～新しい通信と情報処理～」 5月23日(金) 18:00 ▶ 19:45 無料 申込不要
担当 林 正人 (情報科学研究科准教授 情報基礎科学専攻)
会場 せんだいメディアテーク 1F
東北大学
TEL 022-217-4977
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

ユーザー・インターフェイス・デザインとは～携帯電話を事例として～ 5月23日(金) 18:30 ▶ 20:00 無料 申込不要
会場 東北工業大学一番町ロビー
東北工業大学
TEL 022-723-0538
URL http://www.tohtech.ac.jp/outline/general.html

「天才エジソンを育てた母の教え」 5月25日(日) 13:30 ▶ 15:00 ※定員:先着300名 無料 申込不要
講師 ヘンリー幸田 (本展監修者・エジソン発明品収集家・米国特許弁護士)
会場 東北歴史博物館 3階講堂
東北歴史博物館
TEL 022-368-0101
URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/

尚綱学院大学公開講座 2008 「年金の現在と将来の生活」 5月31日(土) 14:00 ▶ 16:00 無料 要申込
講師 阿部裕二 (東北福祉大学教授)
会場 JR名取駅プラザホール
尚綱学院大学(エクステンションセンター)
TEL 022-381-3315
URL http://www.shokei.ac.jp/college/

第17回仙台てんかん医学市民講座 5月31日(土) 13:00 ▶ 17:00 無料 申込不要
講演者 渡辺英寿 (自治医科大学脳神経外科教授) 曾我孝志 (てんかん専門病院ペーテル) 永井瑞江 (元てんかん協会長野県支部事務局長)
会場 せんだいメディアテーク 7F スタジオアター
カー1仙台(てんかん専門病院ペーテル内)
TEL 022-24-1362
URL http://www.bethel-japan.com/

※登壇者(講師、演者、担当者)については敬称略

まなびのめ 最新情報はWeb版で更新中です。
http://www.sasappa.co.jp/manabinome/

尚綱学院大学公開講座 2008 「日本の経済動向と政策の転換」 6月13日(土) 14:00 ▶ 16:00 無料 要申込
講師 高橋 真 (尚綱学院大学教授)
会場 JR名取駅プラザホール
尚綱学院大学(エクステンションセンター)
TEL 022-381-3315
URL http://www.shokei.ac.jp/college/

まちなか美術講座 「高橋由一<<宮城県庁前図>>」 6月14日(土) ※定員60名 13:00 ▶ 14:30 無料 要申込
講師 加野恵子 (宮城県美術館 学芸員)
会場 東北工業大学一番町ロビー 4階ホール
東北工業大学・宮城県美術館
TEL 022-221-2111
URL http://www.pref.miyagi.jp/bijyutu/museum/

第35回東北大学サイエンスカフェ 「レスキューロボット最前線」 6月20日(金) 18:00 ▶ 19:45 無料 申込不要
担当 田所 謙 (情報科学研究科教授 応用情報科学専攻)
会場 せんだいメディアテーク 1F
東北大学
TEL 022-217-4977
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

尚綱学院大学公開講座 2008 「経済学で政治を分析する」 6月21日(土) 14:00 ▶ 16:00 無料 要申込
講師 関谷 登 (東北学院大学副学長・教授)
会場 JR名取駅プラザホール
尚綱学院大学(エクステンションセンター)
TEL 022-381-3315
URL http://www.shokei.ac.jp/college/

尚綱学院大学オープンカレッジ 2008 前期 「英会話」「ハングル」「健康・スポーツ」「感性アート」「身近な文庫」など13講座開講
問合せ・申込先 尚綱学院大学エクステンションセンター TEL 022-381-3315 FAX 022-381-3325 E-mail extension@shokei.ac.jp 受付開始: 4月16日(水)～先着順


宮城学院女子大学生涯学習センター 2008年度前期 2008年5月～8月 「文学・歴史・文芸」「語学」「心理・暮らし」など42講座開講
<一例> 「未来学1～自然観の変容」講師 吉崎泰博 (宮城学院女子大学学長) 3回講座 5/22(木)・6/26(木)・7/17(木) 12:40～14:00 定員60名 受講料3,600円
問合せ・申込先 宮城学院女子大学生涯学習センター TEL 022-279-4341 FAX 022-279-5876 E-mail lsceneter@mgu.ac.jp URL http://www.mgu.ac.jp/20syogal/2008zenki.html

参加体験記 「学び」イベントに行ってきました

<第21回 耳の日のイベント>
■「ぐるぐる」「ふわふわ」「くらっ」めまいの耳よりな話 東北公済病院耳鼻咽喉科副部長 東北大学医学部臨床准教授 吉田 尚弘 氏
■誰でも見つけられる口の中のがん 東北大学耳鼻咽喉・頭頸部外科講師 志賀 清人 氏
2008年3月2日(日) 10:00～12:00 仙台市急患センター・仙台市医師会館2階ホール

3月3日はひなまつり。でもその数字のゴロあわせから33みみの日でもあるんですね…会場に入ると既に約500名ほどの方が……えっ、有名な先生なの？ どうしてこんなにに関心が高いんだろう？ もちろん講演の内容も、「どんな時に、どんな症状が、どのくらいの間？…それをしっかり医師に伝えられたらだけでも速く原因が特定できるんですよ。」などと解りやすいお話でした。そして、講演会のあとには盛んな質疑応答があり、医療相談の時間帯には列をつくって順番待ちの光景がありました。なるほど！ このイベントは、現に「めまい」や「口の中の病気」などの症状や治療について、心配や疑問のある方などが多く参加されていたんですね？ だからこそ熱心に耳を傾けていたのでしょう！ 実際、受診するまでの症状ではなくても、気がかりなところを先生に相談し、丁寧に説明を受けて、安心して帰られた方もいました。的確なアドバイスは嬉しいですよ…。21年前から回を重ねてこれだけの理由は、病気の不安を抱えた人が、ここに来れば身近に接してくれる先生がいる。……ということなのかもしれません。(大白区・主婦A)

名著への旅 「大地」(一)～(四) パール・バック著 新潮文庫 新居 格訳 中野好夫補訳



この作品は今日一般に「大地」と呼びならわされているが、正確には「大地」・「息子たち」・「分裂せる家」の三部作仕立てである。十九世紀後半から二十世紀に遡り変わる時期の中国。貧農王龍が物語の基である。私には、三部の中では「大地」が最も味わい深い。王龍とは即ち大地である。大地とは即ち再生であり癒しである。日々の闘は元より、人間の思想・信仰は「土」に結ばれ、「土」に根ざしてこそ確固たる基盤を得る。財を成し愛欲の限りを尽した末、「土」に還り、「土」に目覚めて発する王龍の叫びは、救いを求める人間の普遍的な祈りの発露である。このいかにも東洋的と言える心性の妙味を、中国在住四十年ばかりの彼女が深く洞察し得たは、驚くほかない。

「大地」は1932年にピューリッツァー賞を、さらに1938年にはノーベル文学賞を受賞している。

(唯)

学術の世界に市民の声を届けよう。 「参加体験記」募集します。

◆投稿内容 イベントタイトル 日時、会場 登壇者(講師、演者等) 体験談(420字以内) 氏名(ペンネーム)、連絡先

◆投稿先 「まなびのめ」編集部

「学び」イベントに参加した、あなたの体験談をお送りください。「まなびのめ」紙版・Web版に掲載予定です。郵送、FAX、E-mailアドレス等、いずれかでご応募ください。なお、掲載の可否は「まなびのめ」編集部にご一任いただきます。

http://www.sasappa.co.jp/manabinome/

Web版「まなびのめ」では

- より豊富なイベント情報
- イベント会場への地図やアクセス方法
- 編集部員の生の声 "編集部だより"

等々のコンテンツをご用意してお待ちしています。

今すぐあなたもアクセス

〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8番45号 笹氣出版印刷株式会社内「まなびのめ」編集部
FAX 022-288-5551 TEL 022-288-5555 (FAXは24時間受付 電話受付時間 10:00～16:00 土・日・祝日除く) manabinome@sasappa.co.jp


まなびのめ 学術の世界と市民をつなぐ情報誌「まなびのめ」創刊準備2号 / 発行日 2008年4月1日 企画・編集 笹氣出版印刷株式会社「まなびのめ」編集部 / 発行 笹氣出版印刷株式会社 〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町8番45号 TEL 022-288-5555 Fax 022-288-5551 E-mail: manabinome@sasappa.co.jp Web版: http://www.sasappa.co.jp/manabinome/

「氣」になる「氣」…常用漢字の「氣」を正字の「氣」と表記しています。漢字の世界は広く深くそれはそれは興味深い世界なのです。「氣」にしてみると新しい「まなびのめ」を見つけることができるかもしれません。

仙台発 学術の世界と市民をつなぐ情報誌 Web版も充実

まなびのめ

学びの庭におじゃまします



東北学院大学教養学部教授 専攻:交通心理学
吉田 信彌 先生
読者プレゼント 「事故と心理―なぜ事故に好かれてしまうのか」(中公新書)を3名様へプレゼント

- これからの主な「学び」イベント
- 「学び」イベントに行ってきました

創刊準備号

2

2008. 4

この印刷物は適切に育まれた森から生まれたFSC認証紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。



これからの主な 「学び」イベント

ここに掲載する情報は、各研究・教育機関や施設が公開している情報を基に掲載していますので、当社の責任で開催を保障するものではありません。日時、内容に変更がある可能性がありますので、詳しくは各問合せ先へご確認ください。

4 APR ミニ展示 「あの日あの時～写真の中の子どもたち～」 4月1日(水)～4月13日(日) 9:00 ▶ 16:45 無料 申込不要
会場 仙台市歴史民俗資料館
主催者 仙台市歴史民俗資料館
TEL 022-295-3956
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/rekmln/

新野草館・開館記念講演会 「ふるさとの森と花々の歴史」 4月12日(土) 11:00 ▶ 11:50 無料 申込不要
講演者 鈴木三男 (東北大学植物園園長)
会場 仙台市野草園
仙台市野草園
TEL 022-222-2324
URL http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_yaso.html

NHK文化センター 「宇宙への招待一星・宇宙を身近に」 4月14日(月)～6月23日(日) 13:00 ▶ 14:30 有料 要申込
講師 土佐 誠 (東北大学大学院理学研究科教授、新・仙台市天文台台長)
会場 NHK文化センター仙台
TEL 022-224-4811
URL http://www.nhk-cul.co.jp/programs/program_465612.html

4月14日から6月23日(全6回) 第2・第4日曜日の13:00～14:30 新・仙台市天文台7月オープン記念企画です。～「講師のことは」一星や天文の楽しみ方、新しい宇宙の姿や人間と宇宙のつながりなどをやさしくお話しし、宇宙を身近に感じていただきます。楽しみながら学びます。絵画や文学に現れる星や天文現象について知りた方、新・仙台市天文台のオープンを楽しみにしている方など多くの方々のご参加をお待ちしております。

第45回企画展 「古墳時代の 4月18日(金)～6月15日(日) 9:00 ▶ 16:45 有料 申込不要
仙台―西多賀・富沢の古墳を探る―
会場 地底の森ミュージアム
主催者 地底の森ミュージアム
TEL 022-246-3956
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/chiteinomori/

参加体験記 「学び」イベントに行ってきました

<平成19年度第2回縄文講座>
■テーマ 「ふるさとの森と縄文人」 東北大学植物園 園長 鈴木 三男 氏
2008年2月24日(日) 13:30～15:00 仙台縄文の森広場

「ウサギ追いつかの山」小鮎釣りしかの川」 鈴木先生によると、この「かの山」こそが雑木林＝里山であり、これは縄文人が原始の森を切り拓き、利用することによって出来た二次林から発展したものだということです。では、どうしてそう言えるのか、また、縄文人から受け継いできた森の文化と里山を、私たち現代人はどこへ連れて行くことしているのか、というのが当講座の趣旨であったように感じました。

お話には最新の縄文研究成果もおり混ぜられており、決して学校では習い得なかった事柄もありました。縄文時代前期(約7,000年前頃)までに地球温暖化(何と現在よりも暖かった!)が急速に進んだことでその文化も著しく発展したこと、あるいは、縄文人の行動半径は5 kmくらいだったことなどがその一例です。

「いま、ナラ・マツ・水くさ・キキョウなどが危ない。ふるさとの森が荒れていく。シニアパワーで里山を守っていきたい」とのお言葉で講座を締めくくられました。(宮城郡利府町・hikka)

FREE ¥0 ★自由にお持ち帰り下さい。

学びの庭に
おじゃまします

実は、私たち市民の身近なところで、様々な興味深い研究が進められています。その研究内容や経緯、研究者の横顔、「学び」に対する想いなどを、研究者ご本人に語っていただくコーナーです。今回ご登場いただく方は、東北学院大学教養学部の吉田信彌先生です。

「なぜ」を追究すれば交通事故は減らせる

「安全意識の高い人」も事故を起こす

心理学の中にもいろいろあって、私が研究しているのは交通心理学という学問です。あるいは一般の方にはなじみが薄いかもしれませんが、

昨年は交通事故による死亡者が、昭和28年（1953）以来54年ぶりに5千人台まで減少しました。平成7年（1995）までは8年連続で1万人を超えていましたから、10年あまりで半分ほどになったわけです。私は学生たちと一緒に、こうした統計や自分たちで調査した結果をもとに「なぜ人は事故を起こしてしまうのか」「事故を減らすためには何が効果的なのか」を追究しています。人が語る言葉ではなく数字から人の心を探るわけですが、実は数字は、行動の兆候を示す統計や行動を何らかの形で数値化したものだと言うことができるのです。

たとえばシートベルトは安全意識の象徴とされることが多いのですが、「シートベルトをつける運転者ほど、左折するとき自転車やバイクを巻き込まないよう安全確認をする」と言うことはできるでしょうか。私は学生たちと共に、交差点にかかる歩道橋の上から運転者の様子をビデオに収め、研究室に戻ってはそれを再生してシートベルトの装着と後方確認の有無をカウントしてみました。歩道橋から撮影したのは、もちろん運転者に気付かれないようにするためです。



青信号を通過しながら左折する時、後方を確認する人は20%ほどしかいなかったのに対して、赤信号のために先頭で止まった状態から発進する時は、50%を超える人が後方確認をしていました。しかしシートベルトをつけている人とつけていない人の間には、ほとんど差は認められませんでした。シートベルトと左折時の安全確認の間には、何の関係もなかったのです。「安全意識」という言葉は便利で、「事故を起こさないよう気をつけよう」とか「安全意識を高めよう」という言葉をよく聞きますが、実はこうしたスローガンはほとんど効力を持たないのではないのでしょうか。交通事故は、「青信号を通過する際も、左折時には必ず後方を確認する」のように、一つ一つの行動を徹底することによってのみ減らすことができるのです。



「エコで自由」な自転車に要注目

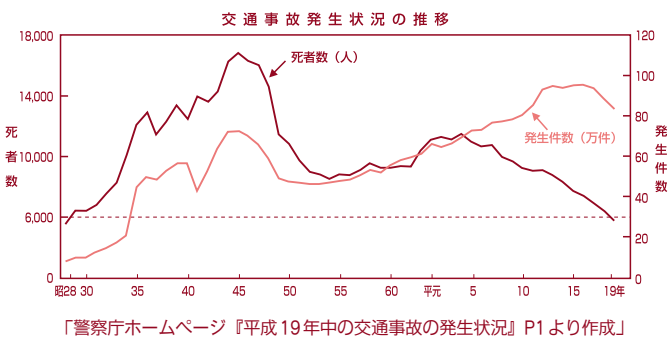
交通事故を減らすには、個々人の行動だけでなく全体の統計も見なくてはなりません。交通事故の件数は歴史的に見ると増えたり減ったりしていますが、よく見ると死者と負傷者では増減の方向が異なることもあるのです。

交通事故の統計をグラフに表してみると、日本で死者が減り始めた時期は2度あって、高度成長が終わった昭和46年（1971）からと、バブル経済が崩壊した平成5年（1993）からであることが分かります。私はこれを偶然だとは思いません。経済的な豊かさや効率性を追求するよりも、安全に価値を置く時代になったために、交通事故の件数は増えても重大な死亡事故に至る割合は減少したと考えるべきだと思うのです。

東北学院大学教養学部教授 専攻:交通心理学

吉田 信彌 先生

（プロフィール）
（よしだ・しんや）1951年宮城県仙台市生まれ。仙台第二高等学校を経て、東北大学文学部卒業。1980年、東北大学大学院を満期退学し、東北学院大学に勤務。1989年より現職。1990年、国際交通安全学会論文賞受賞。



「警察庁ホームページ『平成19年中の交通事故の発生状況』P1より作成」

これは単なる仮説です。しかし研究は仮説を立てることから始まり、実証へと進むのはその次です。実験や調査の結果、仮説の正しさが証明される場合ばかりではありませんが、たとえ誤っていた場合もそれは無駄にはならず、次の仮説を立てるために役立てることができます。こうした積み重ねによって「知識の公共財」に貢献するのが、研究者の仕事なのです。

このように、交通事故の統計も単に数字だけを見るのではなく、その中に人の心を読み、時代や歴史を読むことが大切だと言うことができます。私が注目しているのは、今増えている自転車です。自転車が歩行者と起こす事故は少なくありませんし、歩行者が高齢者の場合は重篤な事故となります。自動車から自転車に乗り換える人は、エコロジーや健康に対する意識の高い「良き市民」に他ならないのですが、自動車を運転するときはいろいろと配慮して慎重に運転する人が、自転車に乗るときは勝手気ままになってしまう、ということがあり得るのではないのでしょうか。その自由勝手さが全体の安全を脅かすことのないよう、そして「良き市民」を罪人にしてしまわないよう、社会の設計を考えたいと思っています。



「言行不一致」だからこそ人は面白い

人の心は複雑であり、しばしば思っていることとは違う行動を取ってしまいます。これを「言行不一致」と呼んで批判することは簡単ですが、むしろ人間は本質的に「言行不一致」な存在なのではないのでしょうか。車を運転する際、人はした方が良いと分かっているにもかかわらず安全確認をしなかったり、しない方が良い

著書を読者プレゼント

3名様

『事故と心理—なぜ事故に好かれてしまうのか』（中公新書）

プレゼントの応募はこちら | ハガキ、FAX、メールのいずれかで、①住所、②氏名、③年齢、④職業、⑤電話番号、⑥内容についての感想を添えて編集部（最終真参照）までご応募下さい。

※当選は発送をもって代えさせていただきます。
※応募いただいた個人情報等は連絡・発送作業にのみ使用いたします。

【応募締切】2008年5月20日



と分かっているにもかかわらずスピードを出したりします。私はそうした人間という存在に、むしろ面白みを感じてこの道を歩んで来ました。

人間の心のありようを非難したりスローガンを繰り返しても事故は減りません。しかしたとえば、左折時の巻き込み事故の知識は事故を減らします。そしてこれは運転者だけではなく、自転車やバイクに乗る人、歩く人など、巻き込まれる側も持つべき知識なのです。運転免許を持つ人は、歩行者としても事故に遭いにくいことが分かっています。知識を持ったり、それをわが子に伝えることで、事故を未然に防ぐ可能性は高まるのです。

学校教育には、たいへん期待しています。小学生も4年生くらいになれば本音と建前の使い分け、つまり「言行不一致」について理解できるそうです。そこでぜひ子どもたちにも「ルールを守れば交通事故は起きないはずなのに、なぜ事故がなくなるのか」「事故を起こさないため、巻き込まれないためにはどうすれば良いのか」について考えてほしいのです。単に交通法規を説明して「気をつけましょう」と言うよりも、子どもたちが事故に遭う可能性はずっと低下するはずで。

大学の研究者には、市民の方に研究の成果を分かりやすく伝える義務があると思います。私は警察の関係者や自動車学校の関係者に講演をしたり、交通安全ボランティアの方々に前にお話しさせていただく機会がよくあります。そうした場では、交通心理学の原理や論理といった、大学の講義内容を分かりやすくお伝えする心がけています。大学や学界レベルの話は難しいはずですが、お聴きになる方々の理解力や知識には確かなものを感じています。そして私はいつも、「ぜひ『なぜだろう』と考えてみてください」とお願いしています。知識の普及、そして自ら学び、考えることが、安全の大きな推進力になるからです。

私は一般の方や高校生向けの本も書いていますので、今これをお読みの皆さんにもご一読いただければ幸いです。交通心理学は研究室に閉じこもってする学問ではありません。これからも、さまざまな形で学びを志す皆さんと出たいと願っています。



（取材＝2008年2月29日／東北学院大学泉キャンパス4号館「工作室」にて）

ミニ企画展「宮城の縄文ムラ 4月18日(金)～6月22日(日) 9:00 ▶ 16:45
—海辺のムラのくらし 大木岡貝塚— 有料 申込不要

会場 仙台市縄文の森広場
主催者 仙台市縄文の森広場 問い合わせ Tel. 022-307-5665
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/jyoumor/

新野草館・開館記念講演会 4月19日(土) 13:30 ▶ 15:00
「私たちの生活環境と樹木の動き」 (入場料別途必要) 無料 申込不要
講演者 濱野周泰 (東京農業大学准教授)

会場 仙台市野草館
主催者 仙台市野草館 問い合わせ Tel. 022-222-2324
URL http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_yaso.html

「大ナポレオン展— 文化の光彩と精神の遺産」 4月20日(日)～5月5日(再:金) 10:00 ▶ 19:00
※4月24日(木)は休館 有料 申込不要

会場 せんだいメディアテーク 6階ギャラリー
主催者 「大ナポレオン展」実行委員会 問い合わせ Tel. 042-691-4511 (東京富士美術館)

世界遺産「武家の古都・鎌倉」4月25日(金)～6月1日(日) 9:00 ▶ 16:45
登録推進 武家文化の精華 ~金沢文庫・称名寺の名宝~ 有料 申込不要

会場 仙台市博物館
主催者 仙台市博物館 問い合わせ Tel. 022-225-3074
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/

第33回東北大学サイエンスカフェ「カーボンナノチューブの科学によるこそ～円筒形物質の発見と使い方～」 4月25日(金) 18:00 ▶ 19:45
担当 齋藤理一郎 (理学研究科教授 物理学専攻) 無料 申込不要

会場 せんだいメディアテーク 1F
主催者 東北大学 問い合わせ Tel. 022-217-4977
URL http://cafe.tohoku.ac.jp/

大規模地震とブロック塀問題 4月25日(金) 18:30 ▶ 20:00
無料 申込不要

会場 東北工業大学一番町ロビー
主催者 東北工業大学 問い合わせ Tel. 022-723-0538
URL http://www.tohotech.ac.jp/outline/general.html

春の特別展「発明王 エジソン展 知られざる天才の秘密」 4月26日(土)～6月15日(日) 9:30 ▶ 16:30
有料 申込不要

会場 東北歴史博物館
主催者 東北歴史博物館 問い合わせ Tel. 022-368-0101
URL http://www.thm.pref.miyagi.jp/

霧箱で発見! 超ミニサイズの飛行機雲 4月26日(土) 13:00 ▶ 15:00
無料 要申込

会場 東北電力グリーンプラザ コミュニティルーム
主催者 東北電力 問い合わせ Tel. 022-225-2969
URL http://www.tohoku-epco.co.jp/fureal/event/oasis/0803/11_12.pdf

金沢文庫展記念講演会「金沢文庫と称名寺の文化財」 4月26日(土) 13:30 ▶ 15:00
講師 西岡芳文 (神奈川県立金沢文庫学芸課長) 無料 要申込

会場 仙台市博物館
主催者 仙台市博物館 問い合わせ Tel. 022-225-3074
URL http://www.city.sendai.jp/kyouiku/museum/

あっと驚く! 化学マジック実験 4月27日(日) 13:00 ▶ 15:00
無料 要申込

会場 東北電力グリーンプラザ コミュニティルーム
主催者 東北電力 問い合わせ Tel. 022-225-2969
URL http://www.tohoku-epco.co.jp/fureal/event/oasis/0803/11_12.pdf

※登壇者（講師、演者、担当者）については敬称略